



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

イラク：国会議員選挙の結果（速報値）発表

5月19日、イラクの選挙管理委員会は4月30日に投票が行われた国会議員選挙（定数328議席）の結果を発表した。この結果は、選挙に参加した諸党派からの異議申し立ての審理を経て若干変更する可能性があるが、選挙の大勢が判明した。各選挙連合・党派の獲得議席については報道機関ごとに数値が異なっているが、20日付『ハヤート』紙（注）によると主な選挙連合・党派の獲得議席は以下の通り。

法治国家連合（代表：マーリキー首相）：92

サドル潮流：29

国民連立（代表：アンマール・ハキーム SIIC 代表）：31

ムッタヒドゥーン（代表：ヌジャイフィー国会議長）：23

愛国連立（代表：アッラーウィー元首相）：21

アラビーヤ（代表：ムトラク元副首相）：9

KDP（クルド民主党。代表：マスウード・バラザーニー・クルド地区大統領）：19

PUK（クルド愛国連合。代表：タラバーニー大統領）：21

変革運動（クルドの政治勢力）：9

2010年の前回選挙では、アッラーウィー元首相を代表とする「イラーキーヤ」が獲得議席第1位となったが、その後同連合は政争を繰り返す中で分裂し政局が混乱した。今回はマーリキー首相が率いる「法治国家連合」が他の連合・党派を大きく引き離して第1位となった。しかし、「法治国家連合」の獲得議席は過半数に遠く及ばず、同連合に友好的な連合・政党を加えても110議席程度にとどまる見通しである。この結果、大統領・首相・国会議長の選出、組閣などを行うための各党派間の合意や同盟を形成する協議が紛糾、長期化する可能性が高い。また、2014年予算（イラクの会計年度は暦年）がいまだ成立していないなど、前回の国会議員選挙以来の政治的混乱の弊害も積み残されたままである。今般の選挙で「法治国家連合」の優位が強まったが、この優位は政治的混乱の收拾や安定政権の樹立に至るほど強力なものでない。今後、各党派間の協議を通じ選挙の時点とは全く異なる同盟・院内会派が形成され、混乱が一向に打開に向かわないことが懸念される。

注：<http://alhayat.com/Edition/Print/2477365>

（高岡上席研究員）

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799